

製品名	ウルトラクリアー（難付着サイディング仕様）
種別	ウルトラクリアーシリコン樹脂塗料
荷姿	15kg、5kg
用途	外壁
適用基材	意匠サイディング全般、無機系・光触媒サイディング、焼付金属サイディング、陶磁器質（釉薬）タイル

工程	材料	調合	所要量 / m <sup>2</sup> / 回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)	
事前診断	新築～10年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工してください。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので、施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないでください。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸い込みや付着性を確認してください。							
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。							
下塗り	クリアベース ハイパー	主 剤 硬化剤	12kg 3kg	0.1～0.14kg (107～150m <sup>2</sup> )	刷毛 中毛ローラー エアレス	1	4時間以上	5時間以内
	塗料用シンナーA		0～5%					
上塗り	ウルトラクリアー (艶あり/3分艶)		15kg	0.1～0.12kg (125～150m <sup>2</sup> )	刷毛 中毛ローラー エアレス	1	—	—
	清 水		0～4%					

## 注 意 事 項

- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 素焼きタイルのような多孔質のタイルやレンガには施工を避けてください。
- クリアベースハイパーは陶磁器質タイル面での漏水やエフロを抑制するものではありません。
- クリアベースハイパーを上塗材として使用することは避けてください。
- 上塗材に艶調整品を施工する際は塗り継ぎや塗り重ねのムラに注意し、面で通して施工してください。
- クリアベースハイパーは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- クリアベースハイパー混合後の可使時間を遵守し、可使時間以内に使用できないと予想される場合、必要に応じて小分けしてご使用ください。
- 下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は施工出来ません。
- チョーキングが目立つ下地は塗装しないでください。仕上がりにムラが発生し、塗装後に剥離等の原因となる恐れがあります。
- シーリング面に塗装する場合は、変色・汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本としてください。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生してください。
- 弱溶剤形製品は取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を遵守してください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢が悪くなります。
- エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行ってください。
- 施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ご使用の際は容器に記載されている注意事項をよく守ってください。詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。